

日本二普協ニュース

No. 120
平成30年2月号



一般社団法人
日本二輪車普及安全協会

二輪と社会の調和を求めて

平成29年度の活動報告



5月27日 グッドライダーミーティングin奈良



6月10日～11日 北海道サマーツーリングinニセコ



7月14日 東京都立町田工業高校 ライディングトレーナー講習



7月15日 埼玉県高校マナーアップ講習 秩父自動車学校



8月5日～6日 二輪車安全運転全国大会



8月19日 バイクの日スマイルオン2017in新宿



8月26日～27日 バイクのふるさと浜松



9月16日 BIKE LOVE FORUM in 群馬県前橋市



12月7日 二輪品質評価者講習会in千葉BDS会場

◆目次◆

□平成30年 年頭の辞	
伊東 孝紳 日本二普協 会長	2
樹田 好一 警察庁 交通局長	3
□平成29年度 活動報告	
安全本部 安全普及部	4
安全本部 G防推進部	6
流通環境本部 流通業務推進部	7
流通環境本部 モーターサイクルスポーツ推進部	8
★平成29年度 陸運関係功労者・従事者表彰	9
□都府県地区支所会長・事務局長会議	
会長挨拶 伊東 孝紳 日本二普協 会長	12
来賓ご挨拶 早川 智之 警察庁 交通局 運転免許課長	13

★平成29年度 日本二普協 会長表彰	
代表者表彰	14
優良地域団体名簿	15
グッドライダー・防犯登録制度推進 優良販売店名簿	16
★意見交換会	
会長挨拶 伊東 孝紳 日本二普協 会長	18
来賓ご挨拶 丸山 潤 警察庁 生活安全企画課 犯罪抑止対策室 室長	18
警察庁 交通局長 樹田 好一 様 からの挨拶状	19
□トピックス	
「明治150年」関連施策の推進について	20
□統計DATA	
都道府県別二輪車乗車中死者数	21
グッドライダー・防犯登録状況	22
二輪車盗難認知及び被害回復状況	23

年頭の辞

「安全、安心、より快適な二輪車環境の構築を目指し、活動を推進」

会長 伊 東 孝 紳



明けましておめでとうございます。皆様、良き年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素から、当協会の諸活動に多大のご理解とご支援、ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

新年に当り、当協会が本年取り組みます事業につきまして4点ばかり簡単に申し述べたいと思います。

第一は、「二輪車の安全普及活動」についてです。

昨年11月末現在の全国の二輪車乗車中の交通事故による死者数は587人で、前年同期より47人減少となり、原付自転車乗車中が170人で前年同期より42人減少、自動二輪車乗車中は417人で前年同期より5人減少と、いずれも減少となっております。

日本二輪車普及安全協会では今後より一層、悲惨な交通事故を抑止して安全で、安心な二輪車利用の普及を図るため、グッドライダーミーティングをはじめ高齢者、女性、高校生等に対する安全運転講習を計画的に推進してまいります。

第二は、「二輪車の防犯活動」についてです。

二輪車の防犯活動として警察のご指導を得てグッドライダー・防犯登録制度を運用しておりますが、このところ登録件数が減少傾向にあり、その一因として、ユーザーをはじめ販売店、更には警察官に、この防犯登録制度についての知識が無かったり、メリット等が十分に理解されていないこと等が考えられることから、昨年4月から6月までの3か月間、「グッドライダー・防犯登録普及促進月間」を実施しました。

当協会としては、引き続き本年も「グッドライダー・防犯登録普及促進月間」を実施し、グッドライダー防犯登録の一層の普及と登録件数の増加を図り、ユーザーの大切な二輪車の盗難被害の防止と盗難に遭った場合の早期発見、被害回復を図ることができるよう二輪車ユーザーの安全で安心な二輪車利用をサポートしてまいります。

第三は、「利用環境の改善」及び「流通環境の整備推進」についてです。

二輪車の利用環境の改善に向けて、関係団体と連携を強化し、二輪車の駐車場整備やユーザーに対する駐車場利用啓発等を行ってまいります。また、二輪車マナーアップ施策としてライダーの安全やマナーに対する意識の向上を図り、社会における二輪車のイメージアップのため、グッドマナー ジャパンライダーズ宣言を積極的に推進してまいります。

流通環境の整備については、関係団体と連携して自動車公正取引協議会への入会促進や二輪車品質評価者講習会の開催などを行い「二輪車公正競争規約」の一層の普及を図ってまいります。

第四は、「楽しさを訴求するイベントの開催等」と「モーターサイクルスポーツの普及促進」についてです。

二輪車の楽しさを広く訴求するため、バイク月間中のイベントをはじめとする各種イベントを積極的に開催または後援してまいります。

また、一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会と連携し、モーターサイクルスポーツの普及促進を図ってまいります。

以上、当協会が取り組みます主な事業とその方針をご紹介いたしました。私共は今後とも安全、安心、より快適な二輪車環境の構築を目指し、二輪車ユーザーの利用の輪が一層広がるよう活動を推進してまいります。

皆様方のお一層のご理解とご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに皆様の益々のご健勝とご活躍を心より祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

年頭の辞

「安全で快適な交通社会の実現に向け 官民一体となり一層の推進」

警察庁交通局長 梶 田 好 一



新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、平素から交通警察行政各般にわたりまして、格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

また、グッドライダーミーティング等による交通安全講習や各種交通安全啓発活動により、二輪車運転者に対する交通事故防止及び交通安全意識の高揚に多大な貢献をされておりますことに、深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

さて、平成 29 年中の交通事故情勢につきましては、死者数は 3,694 人で、交通事故発生件数及び負傷者数も 13 年連続で減少しております。

これも皆様方を始めとする関係各位の御尽力のたまものであると改めて感謝する次第であります。

しかしながら、都道府県の半数近くは、死者数が増加しているほか、交通事故死者に占める高齢者の割合は依然として高く、悪質・危険な運転による悲惨な重大事故も後を絶たないなど、交通事故情勢は厳しい状況にあります。

こうした情勢を踏まえ、警察といたしましては、悲惨な交通事故を 1 件でも減少させ、政府が目標とする「世界一安全な道路交通」の実現に向け、高齢者の事故防止を始めとする総合的な交通事故抑止対策を一層推進していくこととしております。

また、高齢運転者や貨物自動車に係る交通事故防止等を目的として昨年 3 月に施行された改正道路交通法の適切な運用に努めるほか、同年 6 月に取りまとめられた「高齢運転者交通事故防止対策に関する提言」を踏まえ、高齢運転者対策を推進していくこととしています。

現下の厳しい交通事故情勢の中で交通事故抑止の効果を上げるためには、警察と関係機関・団体が連携を一層強化し官民一体となって取り組んでいくことが不可欠と考えております。

貴協会におかれましては、二輪車運転者の利用環境等の向上とともに、交通安全講習や交通安全啓発活動を一層推進していただき、安全で快適な交通社会の実現に向け、今後とも御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会のますますの御発展と皆様の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

活動報告

安全本部 安全普及部

■グッドライダーミーティングの開催

グッドライダーミーティング（以下「G ミーティング」という。）は、日本二普協が主催もしくは共同主催者として主に初心二輪車運転者等、二輪車の運転に不慣れで不安のあるライダーを対象として実施している体験型運転実技講習会です。

本年度、全国で118回の開催を計画し、年度内に3回の開催を残していますが、12月末迄に110回を開催し（中止は5回）、受講者総数は3,722名という状況です。

本年度は、レディースミーティングを12回、高齢者を対象としたG ミーティングを2回開催しました。また、警察（白バイ）関係者、県交通安全協会（二推）との連携・協力を例年にも増して進めることが出来ました。

来年度以降もグッドライダーミーティングが、二輪車交通事故抑止に貢献していくために、全国47都道府県での開催を将来に亘り定着させていくため運営方法の全国標準化を目指して参ります。

具体的には、

- ・交通事故死傷者の割合が高い、初心運転者、年齢層（若者・リターンライダー等）の参加を促進する。
- ・販売店を経由した動員の強化と募集方法の最適化を図る。
- ・女性の参加を促すために、現在よりも参加し易い環境整備を進める。
- ・G ミーティング指導員マニュアルに基づいた指導方法、講習内容を標準化する。そのための各県指導員のレベルアップ研修会を実施する。
- ・受講者アンケート調査・分析を継続し、内容改善により一層の充実を図る。
- ・地域格差を是正すべく、ライダーの数（人口等）に応じた開催回数を設定する。
- ・会場使用料、指導員への謝金等の標準化と受益者負担の原則に則した講習料金を検討する。

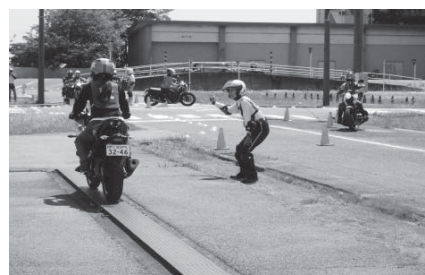
以上の課題に取り組めます。



北海道 札幌運転免許試験場



宮城県 宮城県運転免許センター



愛知県 平針運転免許試験場



大阪府 関目自動車学校



広島県 広島県運転免許センター



愛媛県 愛媛県運転免許センター

■高校生に対する安全運転教育活動

日本二普協では、高校生の交通事故抑止に寄与するため関係する機関・団体と連携し、原付車両による通学を許可されている生徒に対して運転実技講習を実施しています。これは交通ルールとマナーの習得及び運転技術の基本とその向上を図ることにより、一般道において交通事故に遭わない、起こさないためのポイント等の習得を目的としたものです。

また、一部地域では全校生徒に対し日常生活に潜む様々な交通リスクについての安全講話も実施しています。

本年の活動実績は、座学講習・運転実技講習を合わせて延べ189校で16,284人の生徒に対して実施する事が出来ました。

さらに、埼玉県に於いては「高校生の自動二輪車等の交通安全に関する検討委員会」に委員として参加し今後の県下高校生に対する交通安全教育の在り方について議論を重ねて参りました。

来年度以降の課題、目標としては、もちろん全ての二輪車運転免許証を持っている生徒に対して交通安全運転教育を届ける事ですが、まずは高校生の二輪車による交通事故の割合が高い県、原付車による通学を許可されている生徒数の多い県での講習を充実させて行きたいと考えています。



埼玉県 浦和東高校



福岡県 八女農業高校



茨城県 つくば工科高校

■免許取得支援活動

原付試験問題「ゲンチャレ」Web サイトは、運転免許を取得しようとする時点において交通安全教育をすることは、大きな効果が期待出来ることから、これらの者に必要な情報を提供して免許取得を支援し、安全かつ健全な運転者を育成することを目的としています。

Web 検索では原付試験問題として圧倒的な認知度を誇っていますが、原付免許の受験者数の減少に比例して、アクセス数は2017年度およそ873,000セッション程度となる見込みで、残念ながら毎年減少を続けています。

来年度以降の課題、目標は、

- ・免許取得者にも、交通ルールを再確認するためのツールとしての活用を促進します。
- ・原付免許取得に際して義務付けられている原付講習の支援として、実技編の活用を促進し交通安全意識の醸成を促進します。



原付試験問題「ゲンチャレ」Webサイト



「ゲンチャレ」Webサイト実技編



動画で学ぶ!原付ライディング

活動報告

安全本部 G 防推進部

■グッドライダー・防犯登録の推進状況

グッドライダー・防犯登録（G防登録）は、本年度も30万件超の登録を目指し展開していますが、平成29年1月～12月の登録件数は233,238件となっており、依然として低調です。

本年度はG防登録の減少傾向に歯止めをかけ、G防登録の認知度向上と一層の普及促進を図るべく、4月から6月までの3か月間「グッドライダー・防犯登録普及促進月間」等を実施した結果、一定の成果が見られたため、来年度も下記のとおり実施致します。

グッドライダー・防犯登録普及促進月間

◇実施期間

平成30年4月1日（日）～6月30日（土）までの3か月間

◇後援

警察庁

全国カワサキ会、全国スズキ二輪会、全国ホンダ二輪会、全国ヤマハ会
全国オートバイ協同組合連合会

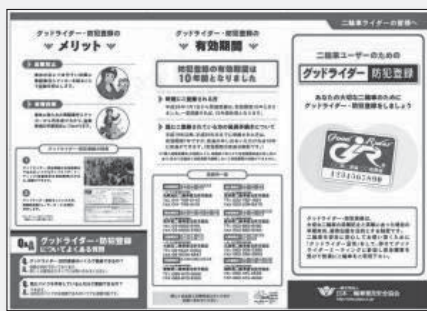
◇実施内容

- ・G防取扱販売店、都道府県警察本部及び警察署へポスターとリーフレットの配布、積極的な加入促進依頼
- ・関係機関・団体のWebサイトにグッドライダー・防犯登録についての情報掲載協力依頼
- ・業界紙、関係機関の機関誌等へ「グッドライダー・防犯登録普及促進月間」の告知協力依頼

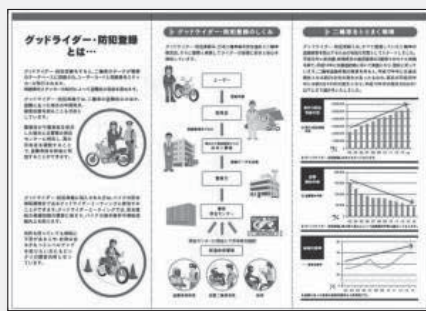
※本月間は、表彰及び特典は予定しておりません。



掲示予定のポスター（B3サイズ）



配布予定の三つ折リーフレット



■盗難照会システムの運用状況

警察が保有する盗難二輪車情報の提供を受けて、販売店等がユーザーから二輪車を購入する場合などにおいて、その二輪車が盗難車に該当しないかの確認することが出来る、二輪車盗難照会システムを運用しています。

中古二輪車の取引を行う場合は、販売店としては盗品等が市場に流通することがないように二輪車盗難照会システムを活用することが重要です。

活動報告

流通環境本部 流通業務推進部

■二輪車駐車場の整備促進および利用促進

本年度も、自治体を訪問し自転車等駐車場への自動二輪の受け入れ要請や「全国バイク駐車場案内」Webサイトへの掲載協力依頼など二輪車駐車場整備の促進を行いました。

またWebサイトに設けている「バイク駐車場ここにつくって!」にユーザーから寄せられた要望を自治体へお届けしました。

「全国バイク駐車場案内」Webサイトの情報掲載数は、12月末時点で167,700台となり、前年末より7500台増加致しました。

平成28年の全国の確認標章取付数(放置二輪車にステッカーが貼られた件数)は、153,993件となり前年の163,576件に対して9,583件減少し、前年比94.1%となりました。

平成29年1月～6月の確認標章取付数は71,801件で、前年同期に比べ882件減り98.8%となりました。



■二輪車通行規制区間のユーザーからの要望収集

本年度も二輪車通行規制区間に関するユーザーからの要望収集を行いました。2016年10月～2017年9月の1年間で924件が集まりました。ユーザーの生の声として各支所より管轄の警察へ届け、情報共有を行いました。

■公正な二輪車取引の推進、二輪品質評価者(品質査定士)講習会の開催

日本二普協主管の公取協会員(MC会員)は12月末現在、新規入会法人数は31社、廃業などの理由により50社が退会、合計3,736社となりました。(前年度3,755社 前年比99.5%)



二輪車品質評価者講習会は、全国で56回開催し、1,244名が受講しました。また、未在籍店から193店213名の受講がありました。

昨年より始まったE-ラーニングの受講が本年より更新者については座学講習との選択制となりE-ラーニングでの更新受講者数は358名となりました。

■グッドマナー JAPAN RIDERS 宣言

本年度はNEXCO 東日本・中日本が実施した「首都圏ツーリングプラン」にご協力を頂き、マナーアップ宣言を申し込み条件として頂いたことで大きく認知度向上につなげることが出来ました。平成29年12月までに68,000件の宣言を頂き、Facebookの「いいね!」の12月末現在の累計数は1,766件、今年度のJAPAN RIDERS公式Webサイトアクセス数は58,731セッションとなっています。

引き続き、来年度も新たに企画されるプランなどとタイアップしながら、JAPAN RIDERSの一層の認知度向上と訴求効果を高めるための施策を展開します。

活動報告

流通環境本部 モーターサイクルスポーツ推進部

■バイク月間

本年度も、「交通安全」と「バイクの楽しさ」をテーマに「8月19日のバイクの日」を中心に、バイクの安全と楽しさを訴求するためイベント等を実施・後援・協力を行いました。



7月 鈴鹿バイクであいたいパレード



8月 バイクの日スマイルオン2017in新宿



9月 東北夢ツーリングin安比



「8月19日 バイクの日新聞企画」では、「バイクを取り巻く状況」を広く世間一般に伝えることを主眼に、「二輪車産業政策ロードマップ」より新聞各紙にテーマを設定し展開しました。また、各紙のデジタル版（Web サイト）でも掲載しました。

来年度も、更に「バイク月間」が認知されるよう、より幅広く、バイクの楽しさを安全に寄与する活動を推進します。

■モーターサイクルショーの開催、協力

大阪モーターサイクルショーを開催するとともに東京モーターサイクルショーへの協力を行い、団体ブースに出展し事業の訴求活動を行いました。

平成 30 年 3 月開催のチケットも既に発売中です。たくさんの方のご来場をお待ちしています。

■モーターサイクルスポーツの開催協力、運営

MFJ や MFJ 加盟団体と協力しモーターサイクルスポーツの底辺層の維持拡大のため、各種全日本選手権の開催や地方選手権活性化等、モーターサイクルスポーツの普及活動を推進しました。

来年度の各種レース日程もすでに決まっています。

詳しい日程は MFJ の Web サイトでご確認下さい。 <http://www.mfj.or.jp/>

平成29年度 陸運関係功労者表彰及び従事者表彰

陸運関係功労者表彰及び従事者表彰は、自動車関係事業の販売、整備、運輸の各分野において多年精励され、功績顕著である者を表彰する制度です。日本二普協では、二輪車関係事業の推薦団体として平成25年度から二輪車業界の発展のために尽力された方々を推薦しています。平成29年度は、国土交通省 自動車関係功労者大臣表彰の受賞者4名のほか、64名の方が受賞されました。引続き、二輪車業界のために、多年精励され、功績顕著な方々を称え、更なる励みとなって頂けるよう、推薦して参ります。



石井啓一国土交通大臣の式辞



大臣表彰を受賞された伊藤様



大臣表彰を受賞された大島様、藤本様、大芦様



関東運輸局長表彰受賞者



中国運輸局長表彰受賞者



東北運輸局長表彰受賞者



九州運輸局長表彰受賞者



北信越運輸局長表彰受賞者



沖縄総合事務局長表彰受賞者



宮城運輸支局長表彰受賞者



栃木運輸支局長表彰受賞者



広島運輸支局長表彰受賞者

陸運関係功労者表彰及び従事者表彰の受賞者一覧

＜日本二普協の推薦者のみ＞

国土交通省大臣表彰 功労者 4名

運 輸 局	支 局	店 名	氏 名
関 東	東 京	(有)大島堅輪社	大島 敏男
関 東	栃 木	(有)大芦輪業	大芦 勝
関 東	山 梨	バイクショップ藤本	藤本 和儀
中 部	愛 知	(有)イトーモータース	伊藤 憲尚

運輸局長表彰 功労者 22名

運 輸 局	支 局	店 名	氏 名
東 北	宮 城	(有)マコトレジャーハウス	齋藤 實
東 北	宮 城	(有)服部カワサキ	服部 謙治
東 北	宮 城	(株)早坂サイクル商会	早坂 忠
関 東	栃 木	(有)岡モータース	岡 康夫
関 東	栃 木	(有)モトショップタカハシ	高橋 修
関 東	千 葉	セフティースポーツショップタキタ	瀧田 一男
関 東	神奈川	港北スズキ販売(株)	三田村 尚
関 東	神奈川	(有)杉本モーターサイクル	杉本 辰夫
関 東	神奈川	(株)プレジャーメイト	瀬谷 秀人
関 東	神奈川	(有)北相モーターサイクル販売	栗原 利一
北信越	新 潟	(株)ホンダウイング高橋	高橋 正則
北信越	新 潟	YOU SHOP小林ヤマハ	小林 繁
北信越	富 山	レッドシティー(合)	深堀 昇
中 部	愛 知	名西カワサキ	西村 一民
中 部	愛 知	(有)モーターショップカトウ	加藤 静利
近 畿	滋 賀	(株)YSP滋賀	糟貝 吉治
中 国	島 根	ホンダドリーム島根	齋藤 勅
中 国	広 島	(株)広島オートバイ販売	小笠原 幸
中 国	山 口	(株)バイクショップ シゲムラ	重村 幸生
九 州	福 岡	(有)アールエス苅田	田中 秀規
九 州	大 分	(有)ホンダウイングイワオ	岩男 鶴喜
九 州	鹿児島	(有)ロマンオート東郷	東郷 喜八

運輸局長表彰 従事者 5名

運 輸 局	支 局	店 名	氏 名
関 東	東 京	YSP成増	原元 直樹
関 東	茨 城	(株)ウエストウッド井原商会	森田 豊
関 東	千 葉	(株)ウイング遠山	伊藤美喜夫
近 畿	大 阪	(株)NAKAGAWA MOTORS	左古 正
九 州	福 岡	(株)スズキ二輪	植田 英敏

運輸支局長表彰 功労者 30名

運 輸 局	支 局	店 名	氏 名
東 北	宮 城	YOU SHOPあんど	安藤 弘禪
関 東	東 京	レインボー(有)	早瀬 孝志
関 東	茨 城	船見サイクル	船見 三四
関 東	茨 城	モトショップサイトウ	斎藤 正勝
関 東	茨 城	(有)ホンダツーワン	早見 豊
関 東	茨 城	YOU SHOPフレンズ	色川 芳美
関 東	栃 木	エルカホン(株)	大田 忍
関 東	埼 玉	(有)ミナミ商会	南 次郎
関 東	千 葉	(有)岩名ホンダ	岩名 光子
関 東	千 葉	(有)ハマダ	濱田 治彦
関 東	神奈川	オートショップ中村	中村 幸雄
関 東	神奈川	(有)モリサイクル茅ヶ崎店	森 孝裕
関 東	山 梨	(有)井上	井上 隆
北信越	新 潟	(株)ニーズ	太田 勝彦
北信越	新 潟	(有)ホンダウイングイヌイ	乾 登志夫
北信越	石 川	(有)城北カワサキ	山本 正
北信越	石 川	(株)バイカーズステーション金沢	森下 一郎
中 部	静 岡	(合)バイクショップ純	鈴木伊智一
中 部	岐 阜	バイクマン	藤原 慶尚
中 部	愛 知	(合)吉村商会	吉村 義彦
中 部	愛 知	(有)ミヤワキオート	宮脇 勇一
中 部	愛 知	近藤モータース	近藤 敏行
中 部	愛 知	東洋産業(株)	森 章
中 部	三 重	羽藤モータース	羽藤 恵一
中 部	三 重	(有)ホンダスポーツ野崎	野崎 光治
中 国	岡 山	近藤商会	近藤 米男
中 国	岡 山	(有)アキヤマ	秋山 勝彦
中 国	広 島	三浦自転車商会	三浦 利之
中 国	広 島	カワサキショップキティ	岩本 敏幸
九 州	沖 縄	プロス那覇ホンダ販売	渡慶次憲博

運輸支局長表彰 従事者 7名

運 輸 局	支 局	店 名	氏 名
関 東	東 京	(有)大月ヤマハスポーツショップ	神谷 清隆
関 東	茨 城	モタイ輪業	茂田井金雄
関 東	栃 木	(有)遠藤サイクルセンター	遠藤由貴子
関 東	埼 玉	(有)細田	石田 浩禎
関 東	千 葉	(有)栄光商会	中野 巖雄
北信越	長 野	YOU SHOP清水	清水 光子
中 部	愛 知	(有)エイトストローク	高橋美代子

都府県地区支所会長・事務局長会議を開催

去る平成29年12月5日(火) アルカディア市ヶ谷で、都府県地区支所会長・事務局長会議を開催しました。

会議では「平成30年度業務推進計画」について説明を行った後に、「平成29年度活動推進状況」について担当部門ごとに報告を行い、各事業活動推進の方向性と課題を共有化しました。



会長挨拶

関係機関団体との緊密な連携の下、各種活動を積極的に展開

会長 伊東 孝紳



都府県地区支所会長・事務局長会議の開催に当たり、一言ご挨拶をいたします。

皆さんには、それぞれの都府県地区において二輪車ユーザーの安全、防犯の確保、流通環境の整備等に日々精励され、所期の成果を収めていただいていることに、敬意と謝意を表する次第であります。

さて、昨年のこの会議では、「各業務の推進状況が概ね順調に推移している中で、グッドライダー・防犯登録については、平成26年度以降、2年半にわたり減少傾向を辿っており、先行きが憂慮される」と申し上げましたが、その後、皆さんのご尽力もあって、本年5月以降、件数的には大きな数ではありませんが、毎月、対前年でプラスが続いています。

このまま増加傾向が続くよう銘柄販社をはじめ関係各社、団体のご協力、ご支援も得て、販売店に対してG防登録の一層の実施を働きかけるなど具体的なG防登録件数増加対策の推進をお願いいたします。

このほかの業務につきましては、概ね順調に推移しておりますが、本年度も未だ3分の1の期間が残っておりますので、一つ一つの業務を効果的にかつ的確な実施に努め、実績の向上を図っていただきますようお願いしております。

二輪車を取り巻く諸情勢が大変厳しい中、皆さんには、日々、何かと御苦労も多いことかと思いますが、二輪車ユーザーの利用の輪が広がり、より安全で快適なバイクライフを享受していただけるよう、関係機関団体との緊密な連携の下に、引き続き各種活動を積極的に展開していただきますようお願いいたします。

終わりにになりましたが、本日ご出席の皆さんの一層のご活躍を祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。

来賓ご挨拶

125cc以下の小型自動二輪車の教習時間の在り方に関して、調査研究を行っています。



警察庁 交通局 運転免許課長 早川 智之

ただいまご紹介を賜りました、警察庁運転免許課長の早川でございます。

本年9月に着任いたしました。

皆様方には、平素から警察行政の各般にわたり、特に二輪車の交通安全普及活動及びグッドライダー・防犯登録制度の普及促進にご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

また、さきほど受賞されました皆様方、本当におめでとうございます。

皆様方のおかげで交通安全活動及び防犯活動が推進されると思っております。心よりお祝いを申し上げます。

さて、本年10月末現在における交通事故死者数は、2,940人で前年同期と比較して194人減少し、原付を含めた自動二輪車の交通事故死者数においても、520人と前年同期と比較して57人減少しております。交通事故死者数の減少というのは、さきほど表彰を受けられた方々の活動を始めとした皆様方の様々な取組の成果であります。

しかしながら、交通事故の内容、状況を分析してみますと、自動二輪乗車中の死者数では、40歳代の死者数が全体の2割を超え、原付乗車中の死者数では約半数が65歳以上の高齢者であるという傾向が出ております。

このような状況を踏まえ、引き続き交通事故の状況に応じた対策を皆様方と一緒に講じてまいりたいと考えております。

高齢運転者に対する事故防止のための様々な施策を講じているところですが、少子化ということに関しても様々な検討を行っており、その一つが自動二輪車についてであります。

最近のテーマとしては、125cc以下の小型の自動二輪車の教習時間の在り方に関して、いろいろな要望、ご指摘を受け、現在、調査研究を行っているところであります。

今、まさに実験をしてその成果を取りまとめているところでありますが、皆様のご要望に沿った形での検討ができるよう努力してまいりたいと考えております。

結びに、交通事故対策については、一年、365日続けておりますが、特に年末は交通事故が多発する時期ですので、皆様方におかれましても交通事故には充分注意していただくとともに、少しでも交通事故死者、交通事故が減少するよういろいろな形で警察とともに、交通事故防止に向けた様々な活動にご協力いただければと思っております。是非ともよろしくお願いいたします。

日本二輪車普及安全協会 平成30年度 業務推進計画の推進項目

第1 二輪車安全運転普及活動の推進

- 1 店頭個別安全指導活動の推進
- 2 各種安全運転講習会の開催
- 3 免許取得支援活動の推進
- 4 二輪車安全運転推進運動の実施
- 5 関係機関・団体との連携強化

第2 二輪車防犯活動の推進

- 1 グッドライダー・防犯登録の推進
- 2 二輪車盗難照会システムの利用促進
- 3 個人情報保護の徹底

第3 流通業務推進活動の展開

- 1 二輪車の利用環境の改善及び規制緩和の推進
- 2 公正な二輪車取引の推進

第4 プレゼンス向上活動の推進

- 1 陸運関係功労者表彰及び従事者表彰の推薦
- 2 グッドライダーの喚起・育成

第5 二輪車の利便性、楽しさを訴求するイベント開催等の展開

- 1 バイク月間の展開
- 2 モーターサイクルショーの開催、支援

第6 モーターサイクルスポーツの普及促進

第7 BIKE LOVE FORUM (BLF) への参画

第8 広報活動の推進

平成29年度 日本二普協会長表彰

優良地域団体35団体 優良販売店137店 を表彰

平成 29 年 12 月 5 日 (火) に開催した都府県地区支所会長・事務局長会議の席上「平成 29 年度 日本二普協会長表彰」の表彰式を行いました。優良地域団体 35 団体、グッドライダー・防犯登録制度推進 優良販売店 137 店が表彰となりました。代表として 5 名の方に、ご出席をいただいて表彰式を行い、伊東会長より表彰状が授与されました。

【優良地域団体代表 2 団体】

深川二輪車安全普及協会 会長 本田 傳 様

池袋二輪車安全普及協会 会長 田口 輝己 様

【グッドライダー・防犯登録制度推進 優良販売店代表 3 店】

ホンダドリーム立川 酒匂 好規 様

ホンダドリーム江戸川 平野 滋 様

T-REX 多摩調布本店 坂尾 圭 様



深川二普協
会長 本田 傳 様



受賞者代表との記念撮影



池袋二普協
会長 田口 輝己 様



ホンダドリーム立川
酒匂 好規 様



ホンダドリーム江戸川
平野 滋 様



T-REX多摩調布本店
坂尾 圭 様

優良地域団体

計35団体（順不同・敬称略）

都府県地区名	優良地域団体名称	代表者氏名
北海道	札幌地区二輪車普及安全協会	石川 治彦
青森	青森地区二輪車普及安全協会	中村 卓三
岩手	岩手県二輪車安全普及協会ブロック会 北上支部	田中 清也
宮城	宮城県二輪車普及安全協会 中央北ブロック会	齋藤 實
山形	長井二輪車普及安全協会	佐藤 邦昭
福島	福島県二輪車普及安全協会 福島支部	齋藤 勲
東京	深川二輪車安全普及協会	本田 傳
	池袋二輪車安全普及協会	田口 輝己
埼玉	越谷地区二輪車安全普及協会	浅見 富司雄
	狭山入間地区二輪車安全普及協会	森田 巧
神奈川	横須賀二輪車安全普及協会	森 雄一
	平塚・大磯二輪車安全普及協会	奥野 裕
静岡	静岡県浜松地区二輪車普及安全協会	杉本 達雄
愛知	愛知県二輪車普及安全協会 瀬戸支部	伊藤 達也
三重	三重県二輪車普及安全協会 松阪支部	西田 均
大阪	枚方・交野地域二輪車安全普及協会	中田 耕司
	松原地域二輪車安全普及協会	新田 房義
	城東地域二輪車安全普及協会	渡邊 清和
和歌山	和歌山東地域二輪車安全普及協会	丸谷 昌
鳥取	中部地域二輪車普及安全協会	森谷 明夫
島根	松江地域二輪車普及安全協会	熱田 勝則
岡山	玉島地域二輪車普及安全協会	青木 一雄
広島	音戸地区二輪車普及安全協議会	道方 隆
	竹原地区二輪車普及安全協議会	稲葉 政由
山口	宇部ブロック	藤村 幸治
徳島	徳島県二輪車普及安全協会 徳島東支部	國見 力
愛媛	愛媛県二輪車普及安全協会 大洲支部	二宮 豊和
高知	高知県二輪車普及安全協会 高知南支部	裏正 一
福岡	小倉南地区二輪車普及安全協会	岡崎 憲二
長崎	大村地区二輪車普及安全協会	石本 和幸
熊本	芦北地区二輪車普及安全協会	川元 光明
大分	大分南地区二輪車普及安全協会	河野 一成
宮崎	延岡地区二輪車普及安全協会	坂本 今朝利
鹿児島	鹿屋地区二輪車普及安全協会	時吉隆 司
沖縄	沖縄県二輪車普及安全協会 名護支部	赤嶺 義治

グッドライダー・防犯登録制度推進優良販売店

計137店（順不同・敬称略）

都府県地区名	店 名	代表者氏名
札 幌	有限会社クルムスSAPPORO	大 村 直 幸
	ホンダドリーム札幌	中 山 晋 一
	井上モーターサイクル商会	井 上 富 夫
旭 川	株式会社モトショップワークス	本 間 萬 造
青 森	Y S P 八戸	三 浦 健 至
	Y S P 青森	成 田 真知子
	有限会社ブルーフォレスト	中 村 卓 三
岩 手	有限会社ライディングビレッジ	澤 村 芳 信
	モトスペース ウインディ	武 内 浩
	北上ホンダ	加 藤 正 喜
宮 城	有限会社原町・ホンダ	相 沢 光 哉
	有限会社根岸オート	横 山 道 男
	有限会社鈴木屋輪業商会	鈴 木 敏 之
秋 田	POWER'Sサトウ	佐 藤 俊 二
	ホンダウイングトダテ	戸 館 和 夫
山 形	有限会社カーセンター葵商会	木 村 嘉 一
	カワサキオート山形	萩 原 行 洋
	Y S P 酒田	五十嵐 博
福 島	ホンダドリーム郡山	杉 原 宏 之
	SBS会津ライトオン	山 田 勝 広
	モトショップ安齊	安 齊 和 広
東 京	ホンダドリーム立川	酒 匂 好 規
	ホンダドリーム江戸川	平 野 滋
	T-REX 多摩調布本店	坂 尾 圭
茨 城	有限会社木村輪業	木 村 茂
	株式会社ウェストウッド井原商会	井 原 啓 之
	バイカーズステーションSOXつくば店	大 石 聖 児
栃 木	ホンダドリーム宇都宮	岡 康 夫
	バイカーズステーションSOX足利店	大 石 聖 児
	有限会社大芦輪業	大 芦 勝
群 馬	バイカーズステーションSOX前橋店	大 石 聖 児
	ホンダドリーム高崎	五十嵐 孝 光
	有限会社ホンダ太田販売	牛久保 勝 司

都府県地区名	店 名	代表者氏名
埼 玉	バイカーズステーションSOX大宮店	大 石 聖 児
	株式会社バイクプラザGAIA	渡 辺 正 昭
	ホンダドリーム東浦和	川 崎 正 樹
千 葉	バイクセンター柏	吉 本 孝 二
	有限会社袖ヶ浦ホンダ 五井店	小 林 宏 子
	ホンダドリーム船橋	鶴 川 弘
神奈川	YOKOHAMAセラビィ	小 川 司
	丸富オート販売株式会社国産車センター店	長 田 憲 治
	バイクセンター横浜	吉 本 孝 二
新 潟	有限会社佐上商会	佐 上 博
	桜井自転車店 本店	桜 井 春 雄
	有限会社キティホーク	馬 場 佳 哉
山 梨	ホンダドリーム山梨	上 杉 功
	有限会社カワサキショップ山梨	吉 田 雄 介
	森沢自転車店	森 沢 昭 二
長 野	有限会社モト・ロマン	中 澤 明 二
	ホンダドリーム長野	小 林 邦 明
	トネガワオート株式会社	舎 川 淳 一
静 岡	株式会社川島モータース	川 嶋 登志久
	バイカーズステーションSOX浜松南店	大 石 聖 児
	オートプラザドリーム	阿 部 十四郎
富 山	YSP富山中央	酒 井 宗 一
	YSP富山東	叶 井 廉
	有限会社ワークスマツオカ	松 岡 信 一
石 川	MOTOR HOUSE BIKE ON 田上店	片 岡 匡 史
	有限会社城北カワサキ	山 本 正
	松田モータース株式会社	松 田 弘
福 井	株式会社バイクガレージ福井	出 口 幸 宏
	有限会社バイクハウス 赤い3輪車	小 林 幸 広
	株式会社ホンダ販売敦賀	中 河 義 隆
岐 阜	Y S P 各務原東	堀 尾 明 宣
	竹村輪業	竹 村 千奈美
	合資会社田中車輛販売	田 中 君 子

都府県地区名	店 名	代表者氏名
愛 知	株式会社イトーＫＴ	伊 藤 達 也
	ホンダドリーム宮	山 本 博 之
	YSP刈谷	石 川 博 樹
三 重	ホンダドリーム鈴鹿	稲 葉 茂 樹
	ナカモータース	仲 功 児
	服部モータース商会	服 部 智 志
滋 賀	株式会社YSP滋賀	赤 松 弘 昭
	河村サイクル	河 村 清 次
	そりまちサイクル	返 町 靖 朗
京 都	株式会社レオタニモト 本店	谷 本 将 崇
	有限会社オートアシストヨシムラ	吉 村 昌 己
	株式会社ジーゼット	徳 田 敏 行
大 阪	有限会社モーターサイクルパル	大 野 圭 央
	株式会社エナジーモータースタイル 東大阪店	大久保 彰
	有限会社市田モーターサイクル	市 田 史 朗
兵 庫	株式会社エナジーモータースタイル 本店	大久保 彰
	モトフィールドドッカーズ 神戸店	池 田 大 輔
	ライダーズポイントFEEL	前 田 宜 孝
奈 良	クレイジーモーターワークスムカイ 奈良本店	向 井 大 二
	バイカーズステーションソックス奈良店	大 石 聖 児
	旭日産業有限会社 ツーリングプラザ	武 田 康 人
和歌山	ホンダドリーム和歌山	林 英 成
	BHB 広畑	廣 畑 佳 伸
	いとうモーターサイクル	伊 藤 久 敏
鳥 取	西部ホンダ販売有限会社	竹 山 宗 泰
	パドックⅢ	野 澤 正
島 根	オートショップ コイズミ	小 泉 利 夫
	有限会社オートショップコウノ	河 野 由佳子
	有限会社おくい	奥 井 一 徳
岡 山	昭和ホンダ販売株式会社	川 田 陽 一
	BIKE COLORSハシモト	藤 原 光 啓
	水谷サイクル	水 谷 正 利
広 島	株式会社小笠原オートショップ	小笠原 静 喜
	オートサイクルまるもと あさひが丘店	丸 本 耕 司
	有限会社バイクプール	佐 藤 行

都府県地区名	店 名	代表者氏名
山 口	株式会社桑原モータース	桑 原 健 一
	有限会社山本モータース	山 本 秀 登
	周防輪業	住 原 健 治
徳 島	有限会社山橋商会	山 橋 諄 亮
	有限会社インディーズ	山 口 裕 治
	株式会社藤岡輪業商会	藤 岡 雅 彦
香 川	株式会社BSP高松	相 川 捷 夫
	ホンダドリーム高松	平 田 信 二
	株式会社BSP丸亀	高 木 健 司
愛 媛	ホンダサービス日野	日 野 征衛門
	高橋商会	高 橋 孝 仁
	有限会社オートサイクル谷口	谷 口 盛 久
高 知	有限会社オートショップ チャレンジ	裏 正 一
	なべしま自転車店	田 内 伸 和
	有限会社オートショップ オジマ	小 島 正 志
福 岡	株式会社エナジーモータースタイル	大久保 彰
	YSP小倉	門 松 秀 明
	株式会社マルセイ商会	須 田 浩 照
佐 賀	SBS SAGA	村 岡 賢 繁
長 崎	水ノ浦自転車店	山 崎 和 昭
	ホンダドリーム佐世保	村 上 順 三
	堀内モータース	堀 内 規 好
熊 本	有限会社モーターサイクルカワグチ	川 口 健 治
	バイカーズステーションソックス熊本本店	大 石 聖 児
	サトナガウェルビー	井 本 明
大 分	ブルーポイント	楠 瀬 正 治
	小野商会	小 野 政 弘
	Oidear	松 田 善 樹
宮 崎	ホンダドリーム宮崎	黒 岩 孝 志
	YSP延岡	山 本 晶 文
鹿 児 島	ホンダドリーム鹿児島	小平田 喜代子
	株式会社協和二輪	伊地知 洋
	迫田輪業	迫 田 一 博
沖 縄	J-HOUSE	島 袋 純
	motofashion元気	崎 間 保
	OKバイクロジー商会	照 屋 清 志

意見交換会

会議終了後、意見交換会が行われました。

会長挨拶

関係機関団体の皆様と緊密に連携することが重要

会長 伊東 孝紳



皆さん こんにちは。

意見交換会の開催にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、警察庁の早川運転免許課長様、丸山犯罪抑止対策室長様をはじめ警察庁、経済産業省の皆様には、ご多忙中にもかかわらずご出席を賜り、誠にありがとうございます。

また、先ほど、優良地域団体及びグッドライダー防犯登録制度推進優良販売店として表彰を受けられました皆様に、重ねて心よりお祝いとお礼を申し上げます。

先程の会議では、来年度の業務推進計画についてご説明をいたしました。この計画が実効を上げていくためには、本部と支所が丸一となって、関係機関団体の皆様と緊密に連携し、計画の実施に当たることが重要なことだと思っておりますが、この意見交換会がその一助ともなればと願っているところであります。

本席は、日頃、お仕事が忙しく、お話し合いをする機会もなかなかお取りいただけない皆様方に、折角このようにお集りいただきましたので、限られた時間ではございますが、時間の許す限りご歓談いただければと思っております。

終わりに、ご出席の皆様のご健勝と益々のご発展を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

来賓ご挨拶

治安の確保は、古物商の方々、一般住民の方々、関係機関の協力があってこそ

警察庁 生活安全企画課 犯罪抑止対策室 室長 丸山 潤



ただいまご紹介を賜りました、警察庁生活安全企画課犯罪抑止対策室長の丸山でございます。

皆様方には、グッドライダー・防犯登録制度の普及を始め、盗品売買等防止団体としての活動などにご協力いただきまして、厚く御礼を申し上げます。

さて、現下の治安情勢であります。平成14年に刑法犯認知件数は285万件を数えたところではありますが、以降、14年間連続して減少しまして、昨年は100万件を切ったという状況であります。

しかしながら、全刑法犯に占める窃盗犯の割合は、全体の7割程度を占めております。そして、これら窃盗の被害品等が、皆様方を始めとする古物商の方々に持ち込まれているというのが実態であります。

皆様方からは、盗品売買等防止団体としての活動により、自動二輪車と原動機付自転車に関する不正品を申告していただいております。これは申告数全体の約4割を占めております。この申告は盗品の流通防止はもとより、犯人検挙や被害品の回復につながっており、その取組みに対し深く敬意を表する次第であります。

治安の確保は、独り警察のみでなし得るものではありません。皆様古物商の方々のご協力、あるいは一般住民の方々、それから関係機関の協力があってこそと考えております。

来る2020年オリンピック・パラリンピック東京大会を見据え、警察といたしましては、「世界一安全な国、日本」を実現するため、全力で取り組んでまいりますので、皆様方におかれましても、引き続き、各種犯罪対策にご理解、ご協力を賜りますよう、重ねてお願いする次第であります。

結びに、本日お集まりの皆様方のご健勝、ご多幸と貴協会の益々のご発展を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。



深川二普協会長
本田 傳 様より
ご挨拶・乾杯のご発声

警察庁交通局長からの挨拶状

年初に、警察庁 榊田好一 交通局長 より、当協会の交通安全活動に対する御礼のご挨拶を頂きました。

一般社団法人 日本二輪車普及安全協会

会長 伊東 孝紳 殿

謹啓 初春の候、貴台にはますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

平素から警察行政各般にわたりまして、格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年の交通事故による死者数は、3,694人で、警察庁が保有する昭和23年以降の統計で最少となりました。

これもひとえに、平素から交通安全活動に携わる皆様の多大なる御尽力のたまものであり、心から感謝を申し上げます。

しかしながら、今なお多くの尊い命が交通事故で失われていることには変わりなく、近年では、高齢者人口の増加等を背景として、交通事故死者数の減少幅が縮小する傾向にあります。

警察といたしましては、喫緊の課題である高齢運転者の交通事故防止対策を始め、第10次交通安全基本計画に基づき、政府が目標とする「世界一安全な道路交通の実現」に向け、子供や高齢者の安全確保を図るための諸対策、悪質・危険な違反の取締り、計画的な交通安全施設の整備、先端技術の普及・活用等、地域の交通実態に即した総合的な交通事故防止対策を一層強力に推進し、交通死亡事故等の更なる減少を目指してまいります。

皆様におかれましては、引き続き、安全で快適な交通社会の実現に向け御尽力いただきますとともに、交通警察行政への変わらぬ御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

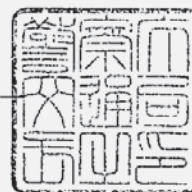
末筆ながら、皆様の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

謹言

平成30年1月4日

警察庁交通局長

榊 田 好



ト

ピ

ッ

ク

ス

明治の歩みを つなぐ、つたえる

平成30年(2018年)は、明治元年(1868年)から起算して満150年に当たります。明治以降、近代国民国家への第一歩を踏み出した日本は、多岐にわたる近代化への取組を行い、国の基本的な形を築き上げていきました。また、多くの若者や女性等が海外に留学して知識を吸収し、外国人から学んだ知識を活かしつつ、単なる西洋の真似ではない、日本の良さや伝統を活かした技術や文化も生み出されました。一方で、昨今に目を向ければ、人口減少社会の到来や世界経済の不透明感の高まりなど激動の時代を迎え、近代化に向けた困難に直面していた明治期と重なっており、「明治150年」を節目として、改めて明治期を振り返り、将来につなげていくことは、意義のあることだと考えています。

こうした中、政府では、内閣官房副長官を議長とする「明治150年」関連施策各府省連絡会議」を設け、政府一体となって「明治150年」関連施策が推進されています。

「明治150年」関連施策は、大きく3つの柱で推進しています。一つ目は、「明治以降の歩みを次世代に遺す施策」です。デジタルアーカイブ化の推進などにより、明治期の歴史的遺産や明治以降の歩みを未来に遺し、特に次世代を担う若者にこれからの日本を考えてもらう契機としようとするものです。二つ目は、「明治の精神に学び、さらに飛躍する国へ向けた施策」です。例えば、明治期には様々な人物が各方面で活躍されていましたが、時間とともにその記憶が薄れて、一部にしか知られていない方も多いのではないのでしょうか。「明治150年」を機に、これらを改めて知る機会を設け、明治期に生きた人々のよりどころとなった精神を捉えることにより、日本の技術や文化といった強みを再認識し、現代に活かすことで、日本の更なる発展を目指す基礎にしようとするものです。三つ目は、「明治150年」に向けた機運を高めていく施策」です。内閣官房のWebサイトなどを通じて情報提供を行うほか、関連する施策や取組みに広くお使い頂けるよう、平成29年8月にロゴマークが決定されています。

「明治150年」関連施策は、明治維新の時期のみを対象とする取組みではありません。維新の時期も含め、明治期全般の様々な取組みや人々の活躍などを対象としたものです。今後とも、国だけでなく、地方公共団体や民間も含めて、日本各地で、「明治150年」に関連する多様な取組みが推進されるよう、「明治150年」に向けた機運の醸成に努め、広く社会に発信されるよう、みなさまのご支援をお願い致します。



内閣官房「明治150年」関連施策推進室Webサイト



首相官邸Webサイト

統計1 都道府県別二輪車乗車中交通事故死者数(平成29年12月末現在)

平成29年中の二輪車乗車中の死者数は、632人で前年同期比52人 1.6%の減少であった。車種別では、自二車乗車中の死者数が448人で前年同期比12人 2.6%の減少、原付乗車中の死者数が184人で前年同期比40人 17.9%の減少であった。

		自二車乗車中死者数			原付車乗車中死者数			二輪車乗車中死者数			全 死 者 数		
		29年 12月末	増減数	28年 12月末	29年 12月末	増減数	28年 12月末	29年 12月末	増減数	28年 12月末	29年 12月末	増減数	28年 12月末
北 海 道		11	6	5	0	-3	3	11	3	8	148	-10	158
東	青 森	3	1	2	1	0	1	4	1	3	42	-11	53
	岩 手	3	1	2	1	-1	2	4	0	4	61	-12	73
北	宮 城	5	-4	9	1	-1	2	6	-5	11	51	-20	71
	秋 田	1	-4	5	2	2	0	3	-2	5	30	-24	54
	山 形	3	-1	4	1	-2	3	4	-3	7	38	10	28
	福 島	8	1	7	3	-2	5	11	-1	12	68	-22	90
計		23	-6	29	9	-4	13	32	-10	42	290	-79	369
東 京		34	-1	35	7	2	5	41	1	40	164	5	159
関	茨 城	13	-1	14	4	-10	14	17	-11	28	143	-7	150
	栃 木	10	3	7	3	-2	5	13	1	12	95	19	76
東	群 馬	5	0	5	5	-1	6	10	-1	11	67	5	62
	埼 玉	27	6	21	17	4	13	44	10	34	177	26	151
	千 葉	27	5	22	6	-10	16	33	-5	38	154	-31	185
	神奈川	28	-9	37	11	-3	14	39	-12	51	149	9	140
	新 潟	5	-8	13	2	-1	3	7	-9	16	85	-22	107
	山 梨	7	4	3	3	1	2	10	5	5	37	2	35
	長 野	4	-11	15	2	-2	4	6	-13	19	79	-42	121
	静 岡	17	-1	18	13	3	10	30	2	28	128	-9	137
計		143	-12	155	66	-21	87	209	-33	242	1,114	-50	1,164
中	富 山	2	2	0	1	1	0	3	3	0	37	-23	60
	石 川	3	0	3	1	1	0	4	1	3	34	-14	48
	福 井	6	4	2	0	0	0	6	4	2	46	-5	51
	岐 阜	7	-4	11	1	1	0	8	-3	11	75	-15	90
	愛 知	20	-8	28	10	-5	15	30	-13	43	200	-12	212
	三 重	8	-4	12	2	-3	5	10	-7	17	86	-14	100
計		46	-10	56	15	-5	20	61	-15	76	478	-83	561
近	滋 賀	9	3	6	3	-5	8	12	-2	14	55	2	53
	京 都	12	2	10	4	-1	5	16	1	15	66	6	60
	大 阪	34	2	32	12	1	11	46	3	43	150	-11	161
	兵 庫	27	2	25	11	1	10	38	3	35	161	9	152
	奈 良	6	1	5	1	-7	8	7	-6	13	40	-7	47
	和歌山	6	3	3	2	0	2	8	3	5	38	-2	40
計		94	13	81	33	-11	44	127	2	125	510	-3	513
中	鳥 取	0	-1	1	0	0	0	0	-1	1	26	9	17
	島 根	2	-1	3	0	0	0	2	-1	3	17	-11	28
	岡 山	9	3	6	5	2	3	14	5	9	97	18	79
	広 島	6	-1	7	6	-1	7	12	-2	14	91	5	86
	山 口	5	-1	6	3	1	2	8	0	8	79	15	64
計		22	-1	23	14	2	12	36	1	35	310	36	274
四	徳 島	1	0	1	0	-3	3	1	-3	4	34	-15	49
	香 川	5	-4	9	3	0	3	8	-4	12	48	-13	61
	愛 媛	5	-3	8	6	-3	9	11	-6	17	78	1	77
	高 知	2	-2	4	1	-2	3	3	-4	7	29	-13	42
計		13	-9	22	10	-8	18	23	-17	40	189	-40	229
九	福 岡	21	5	16	5	-6	11	26	-1	27	139	-4	143
	佐 賀	4	3	1	1	1	0	5	4	1	36	1	35
	長 崎	4	-1	5	2	0	2	6	-1	7	47	6	41
	熊 本	4	-1	5	3	3	0	7	2	5	73	6	67
	大 分	6	0	6	4	3	1	10	3	7	44	2	42
	宮 崎	1	-1	2	2	0	2	3	-1	4	42	-3	45
	鹿 児 島	2	-4	6	9	5	4	11	1	10	66	1	65
	沖 縄	20	7	13	4	2	2	24	9	15	44	5	39
計		62	8	54	30	8	22	92	16	76	491	14	477
合 計		448	-12	460	184	-40	224	632	-52	684	3,694	-210	3,904

統計2 グッドライダー・防犯登録状況(平成29年12月末現在)

平成29年1月～12月の累計実績は、前年同期比2,842件 98.8%の減少であるが、同年4月～12月の累計実績は、前年同期比987件 100.5%の増加となっている。

実施年月	都道府県	11月		増減	前年比	12月		増減	前年比	1月～12月累計		増減	前年比	4月～12月累計		増減	前年比
		H28	H29			H28	H29			H28	H29			H28年度	H29年度		
H10/6	北海道	17	11	-6	64.7	6	5	-1	83.3	1,110	1,198	88	107.9	1,068	1,170	102	109.6
H10/1	青森県	29	30	1	103.4	12	9	-3	75.0	864	866	2	100.2	783	804	21	102.7
H10/4	岩手県	41	38	-3	92.7	10	3	-7	30.0	720	779	59	108.2	632	713	81	112.8
H9/8	宮城県	320	293	-27	91.6	147	220	73	149.7	5,100	4,999	-101	98.0	4,074	4,038	-36	99.1
H10/1	秋田県	9	13	4	144.4	3	3	0	100.0	290	329	39	113.4	264	303	39	114.8
H10/1	山形県	39	33	-6	84.6	2	6	4	300.0	604	696	92	115.2	539	606	67	112.4
H10/1	福島県	59	51	-8	86.4	23	27	4	117.4	823	761	-62	92.5	650	623	-27	95.8
	東北計	497	458	-39	92.2	197	268	71	136.0	8,401	8,430	29	100.3	6,942	7,087	145	102.1
H8/4	東京都	1,467	1,503	36	102.5	1,342	1,498	156	111.6	19,302	20,220	918	104.8	15,025	15,876	851	105.7
H13/10	茨城県	245	266	21	108.6	198	240	42	121.2	3,293	3,878	585	117.8	2,589	3,143	554	121.4
H9/10	栃木県	93	80	-13	86.0	58	89	31	153.4	1,102	1,329	227	120.6	844	1,115	271	132.1
H11/11	群馬県	127	152	25	119.7	99	104	5	105.1	1,489	1,902	413	127.7	1,186	1,542	356	130.0
H9/4	埼玉県	963	1,011	48	105.0	813	914	101	112.4	12,378	12,782	404	103.3	9,619	10,118	499	105.2
H10/6	千葉県	541	484	-57	89.5	422	488	66	115.6	6,738	6,847	109	101.6	5,238	5,311	73	101.4
H10/7	神奈川県	1,587	1,620	33	102.1	1,261	1,359	98	107.8	19,315	20,156	841	104.4	14,402	15,666	1,264	108.8
H8/4	新潟県	30	43	13	143.3	17	17	0	100.0	912	1,015	103	111.3	802	909	107	113.3
H12/4	山梨県	153	132	-21	86.3	129	114	-15	88.4	2,986	2,706	-280	90.6	2,321	2,120	-201	91.3
H10/1	長野県	79	81	2	102.5	68	70	2	102.9	1,703	1,557	-146	91.4	1,395	1,333	-62	95.6
	関東計	5,285	5,372	87	101.6	4,407	4,893	486	111.0	69,218	72,392	3,174	104.6	53,421	57,133	3,712	106.9
H12/8	静岡県	378	489	111	129.4	463	394	-69	85.1	6,101	6,540	439	107.2	4,700	5,177	477	110.1
H10/7	富山県	13	7	-6	53.8	4	2	-2	50.0	347	285	-62	82.1	304	251	-53	82.6
H10/7	石川県	7	12	5	171.4	2	4	2	200.0	245	171	-74	69.8	203	149	-54	73.4
H10/7	福井県	22	16	-6	72.7	7	9	2	128.6	478	537	59	112.3	390	495	105	126.9
H14/4	岐阜県	54	32	-22	59.3	20	33	13	165.0	688	601	-87	87.4	548	492	-56	89.8
H14/4	愛知県	710	705	-5	99.3	756	632	-124	83.6	10,345	10,275	-70	99.3	8,046	8,033	-13	99.8
H10/11	三重県	153	158	5	103.3	142	161	19	113.4	2,523	2,736	213	108.4	1,918	2,200	282	114.7
	中部計	1,337	1,419	82	106.1	1,394	1,235	-159	88.6	20,727	21,145	418	102.0	16,109	16,797	688	104.3
H10/4	滋賀県	232	252	20	108.6	225	228	3	101.3	3,990	3,594	-396	90.1	3,047	2,810	-237	92.2
H9/8	京都府	1,022	896	-126	87.7	984	1,085	101	110.3	13,637	13,257	-380	97.2	10,520	10,136	-384	96.3
H10/12	大阪府	2,590	2,556	-34	98.7	2,274	2,402	128	105.6	34,891	34,083	-808	97.7	25,995	26,051	56	100.2
H10/11	兵庫県	955	863	-92	90.4	767	777	10	101.3	13,233	12,035	-1,198	90.9	9,860	9,252	-608	93.8
H10/9	奈良県	133	140	7	105.3	124	133	9	107.3	1,939	2,272	333	117.2	1,469	1,731	262	117.8
H10/4	和歌山県	298	230	-68	77.2	248	266	18	107.3	3,433	3,256	-177	94.8	2,529	2,428	-101	96.0
	近畿計	5,230	4,937	-293	94.4	4,622	4,891	269	105.8	71,123	68,497	-2,626	96.3	53,420	52,408	-1,012	98.1
H10/12	鳥取県	31	35	4	112.9	22	17	-5	77.3	399	387	-12	97.0	320	334	14	104.4
H10/1	島根県	105	87	-18	82.9	71	55	-16	77.5	1,340	1,208	-132	90.1	1,052	988	-64	93.9
H11/1	岡山県	488	407	-81	83.4	419	390	-29	93.1	6,681	6,308	-373	94.4	5,216	4,983	-233	95.5
H10/4	広島県	1,578	1,412	-166	89.5	1,386	1,259	-127	90.8	20,694	19,248	-1,446	93.0	15,871	15,043	-828	94.8
H11/4	山口県	192	248	56	129.2	228	135	-93	59.2	3,114	2,752	-362	88.4	2,513	2,196	-317	87.4
	中国計	2,394	2,189	-205	91.4	2,126	1,856	-270	87.3	32,228	29,903	-2,325	92.8	24,972	23,544	-1,428	94.3
H11/1	徳島県	96	80	-16	83.3	39	57	18	146.2	946	869	-77	91.9	700	657	-43	93.9
H10/9	香川県	135	152	17	112.6	63	105	42	166.7	1,496	1,765	269	118.0	1,135	1,413	278	124.5
H12/4	愛媛県	890	711	-179	79.9	474	483	9	101.9	10,427	9,541	-886	91.5	7,966	7,244	-722	90.9
H10/11	高知県	172	143	-29	83.1	125	140	15	112.0	2,131	2,185	54	102.5	1,523	1,629	106	107.0
	四国計	1,293	1,086	-207	84.0	701	785	84	112.0	15,000	14,360	-640	95.7	11,324	10,943	-381	96.6
H10/4	福岡県	479	364	-115	76.0	329	342	13	104.0	5,611	5,712	101	101.8	4,379	4,443	64	101.5
H10/11	佐賀県	6	22	16	366.7	8	8	0	100.0	175	173	-2	98.9	134	146	12	109.0
H10/4	長崎県	57	87	30	152.6	59	49	-10	83.1	809	843	34	104.2	625	634	9	101.4
H10/5	熊本県	256	250	-6	97.7	253	209	-44	82.6	4,166	3,582	-584	86.0	3,261	2,732	-529	83.8
H10/10	大分県	89	79	-10	88.8	81	70	-11	86.4	1,271	1,217	-54	95.8	1,001	931	-70	93.0
H10/9	宮崎県	95	99	4	104.2	58	57	-1	98.3	1,100	1,039	-61	94.5	804	811	7	100.9
H8/4	鹿児島県	115	117	2	101.7	122	123	1	100.8	2,030	1,843	-187	90.8	1,466	1,360	-106	92.8
H10/10	沖縄県	335	281	-54	83.9	224	212	-12	94.6	3,111	2,904	-207	93.3	2,475	2,249	-226	90.9
	九州計	1,432	1,299	-133	90.7	1,134	1,070	-64	94.4	18,273	17,313	-960	94.7	14,145	13,306	-839	94.1
	全国計	17,485	16,771	-714	95.9	14,587	15,003	416	102.9	236,080	233,238	-2,842	98.8	181,401	182,388	987	100.5

統計3 二輪車盗難認知及び被害回復状況(平成29年12月末現在)

平成29年1月～12月の盗難認知件数は、20,186件で前年同期比4,118件 16.9%の減少となっている。また、同年1月～12月の被害回復件数は8,495件で被害回復率は42.1%となっている。

都道府県	G防普及率 H29年12月	平成27年			平成28年			都道府県	平成28年 1月～12月			都道府県	平成29年 1月～12月		
		盗難認知	被害回復	回復率	盗難認知	被害回復	回復率		盗難認知	被害回復	回復率		盗難認知	被害回復	回復率
北海道	4.5	166	90	54.2	187	87	46.5	北海道	187	87	46.5		124	73	58.9
青森県	10.7	35	24	68.6	6	3	50.0	青森県	6	3	50.0		5	3	60.0
岩手県	7.6	17	11	64.7	10	8	80.0	岩手県	10	8	80.0		7	7	100.0
宮城県	29.5	289	125	43.3	219	94	42.9	宮城県	219	94	42.9		172	89	51.7
秋田県	5.1	2	2	100.0	0	0	0.0	秋田県	0	0	0.0		0	0	0.0
山形県	8.0	14	10	71.4	13	6	46.2	山形県	13	6	46.2		9	3	33.3
福島県	6.3	85	56	65.9	85	27	31.8	福島県	85	27	31.8		52	38	73.1
東北計	13.7	442	228	51.6	333	138	41.4	東北計	333	138	41.4		245	140	57.1
東京都	21.3	3,207	1,058	33.0	1,940	730	37.6	東京都	1,940	730	37.6		1,731	675	39.0
茨城県	12.8	739	72	9.7	496	120	24.2	茨城県	496	120	24.2		366	62	16.9
栃木県	7.5	141	23	16.3	108	24	22.2	栃木県	108	24	22.2		135	22	16.3
群馬県	9.9	299	141	47.2	144	67	46.5	群馬県	144	67	46.5		110	36	32.7
埼玉県	21.9	2,685	504	18.8	1,317	344	26.1	埼玉県	1,317	344	26.1		1,446	276	19.1
千葉県	14.4	2,149	794	36.9	1,516	725	47.8	千葉県	1,516	725	47.8		1,228	498	40.6
神奈川県	19.2	3,885	1,908	49.1	3,008	1,489	49.5	神奈川県	3,008	1,490	49.5		2,728	1,315	48.2
新潟県	5.4	110	36	32.7	99	30	30.3	新潟県	99	30	30.3		76	21	27.6
山梨県	28.7	742	328	44.2	387	209	54.0	山梨県	387	209	54.0		266	95	35.7
長野県	9.7	63	21	33.3	69	33	47.8	長野県	69	33	47.8		43	45	104.7
関東計	17.5	14,020	4,885	34.8	9,084	3,771	41.5	関東計	9,084	3,772	41.5		8,129	3,045	37.5
静岡県	13.0	856	452	52.8	593	294	49.6	静岡県	593	294	49.6		473	250	52.9
富山県	7.6	51	19	37.3	36	13	36.1	富山県	36	13	36.1		17	14	82.4
石川県	5.9	80	37	46.3	40	24	60.0	石川県	40	24	60.0		20	7	35.0
福井県	11.6	45	26	57.8	42	16	38.1	福井県	42	16	38.1		17	21	123.5
岐阜県	6.3	297	179	60.3	203	123	60.6	岐阜県	203	123	60.6		129	90	69.8
愛知県	18.1	1,525	396	26.0	1,446	422	29.2	愛知県	1,446	422	29.2		1,228	293	23.9
三重県	15.6	451	208	46.1	326	137	42.0	三重県	326	137	42.0		252	127	50.4
中部計	14.1	3,305	1,317	39.8	2,686	1,029	38.3	中部計	2,686	1,029	38.3		2,136	802	37.5
滋賀県	30.0	412	122	29.6	293	83	28.3	滋賀県	293	83	28.3		167	50	29.9
京都府	30.6	1,395	649	46.5	993	438	44.1	京都府	993	438	44.1		702	360	51.3
大阪府	34.7	5,310	2,200	41.4	3,774	1,798	47.6	大阪府	3,774	1,798	47.6		3,431	1,234	36.0
兵庫県	21.3	2,911	931	32.0	2,304	930	40.4	兵庫県	2,304	929	40.3		1,756	679	38.7
奈良県	10.6	337	180	53.4	253	91	36.0	奈良県	253	91	36.0		269	103	38.3
和歌山県	18.6	153	78	51.0	131	69	52.7	和歌山県	131	69	52.7		136	55	40.4
近畿計	27.5	10,518	4,160	39.6	7,748	3,409	44.0	近畿計	7,748	3,408	44.0		6,461	2,481	38.4
鳥取県	16.2	38	17	44.7	29	24	82.8	鳥取県	29	24	82.8		16	14	87.5
島根県	30.4	16	11	68.8	15	8	53.3	島根県	15	8	53.3		11	14	127.3
岡山県	37.2	522	313	60.0	353	201	56.9	岡山県	353	201	56.9		269	119	44.2
広島県	59.3	475	361	76.0	314	241	76.8	広島県	314	241	76.8		293	187	63.8
山口県	29.7	84	43	51.2	71	44	62.0	山口県	71	44	62.0		73	28	38.4
中国計	45.5	1,135	745	65.6	782	518	66.2	中国計	782	518	66.2		662	362	54.7
徳島県	12.2	60	24	40.0	43	19	44.2	徳島県	43	19	44.2		51	33	64.7
香川県	12.9	146	95	65.1	79	39	49.4	香川県	79	39	49.4		110	41	37.3
愛媛県	45.0	327	126	38.5	203	106	52.2	愛媛県	203	106	52.2		140	55	39.3
高知県	21.3	119	70	58.8	58	32	55.2	高知県	58	32	55.2		69	56	81.2
四国計	28.0	652	315	48.3	383	196	51.2	四国計	383	196	51.2		370	185	50.0
福岡県	12.1	3,346	2,295	68.6	1,850	1,404	75.9	福岡県	1,850	1,404	75.9		1,132	744	65.7
佐賀県	2.1	147	85	57.8	68	50	73.5	佐賀県	68	50	73.5		72	37	51.4
長崎県	4.8	97	72	74.2	82	50	61.0	長崎県	82	50	61.0		70	42	60.0
熊本県	19.6	264	199	75.4	164	145	88.4	熊本県	164	144	87.8		129	93	72.1
大分県	11.8	140	104	74.3	113	69	61.1	大分県	113	69	61.1		44	19	43.2
宮崎県	10.9	151	109	72.2	78	47	60.3	宮崎県	78	47	60.3		69	46	66.7
鹿児島県	11.9	206	140	68.0	154	111	72.1	鹿児島県	154	111	72.1		118	85	72.0
沖縄県	15.9	897	301	33.6	592	241	40.7	沖縄県	592	241	40.7		425	341	80.2
九州計	12.2	5,248	3,305	63.0	3,101	2,117	68.3	九州計	3,101	2,116	68.2		2,059	1,407	68.3
全国計	20.5	35,486	15,045	42.4	24,304	11,265	46.4	全国計	24,304	11,264	46.3		20,186	8,495	42.1

(注) 6・防普及率
Ⅱ
12月末G防有効累計件数
H29年4月保有台数
※H28/4～H29/3

<H28対H29比較>
①盗難認知件数 -11,182 -31.5%

・前年同期間比較 ①認知件数 -4,118 -16.9%
②認知件数の増減（県の数）

	県数
認知増県数	9
認知減県数	37
計	46

③回復率の増減（県の数）

	県数
回復率ダウン	25
回復率アップ	21
計	46

編集・発行

〒170-0005

東京都豊島区南大塚2-25-15 South 新大塚ビル7F

TEL : 03-6902-8190 FAX : 03-6902-8195

ホームページ : <http://www.jmpsa.or.jp>

一般社団法人 日本二輪車普及安全協会
